

日本一の足袋 生産地・行田！ 約300年 和装文化の足元を支え続ける 『足袋蔵のまち 行田』文化庁・日本遺産認定 記念!! 地元の足袋を使ったクレーンゲームで、行田市応援と地域に貢献 【地元活性化キャッチャー】登場!!

株式会社東洋(埼玉県北本市/代表取締役中村秀夫)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数がギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンターエブリデイ行田店(埼玉県行田市、以下当店)」は、**地元である行田市が、今年【足袋蔵のまち 行田】として文化庁に日本遺産に認定**されたことを記念し、**地域活性化を後押しする**為、行田市の老舗足袋メーカーの「足袋」が景品となった変わり種クレーンゲーム『**地元活性化キャッチャー**』を**10月20日(金)から稼働開始**させました。

文化庁・日本遺産 と 行田の代名詞「足袋」

日本遺産は、文化庁が、国内の市町村を対象に、我が国の文化・伝統・歴史的建造物などの文化財を個別ではなく、歴史的な経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財を、パッケージ化し、それらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を支援するものです。(※文化庁HPより引用)

約300年前、**行田の足袋**は、武士の妻たちの内職で生産が始まり、名産品として広く知れ渡り、**昭和初期の最盛期には全国の約8割の足袋を生産**するまでに発展。**今も日本一の足袋産地**として、和装文化の足元を支え続ける街には、多くの足袋蔵等歴史的建築物が残り、趣きある景観を形づくっており、**今年、【和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田】として日本遺産に認定**されました。



↑日本一の足袋生産の街 行田の足袋

クレーンゲームで埼玉県内の魅力発信と地域貢献

埼玉県に店舗があり、県内外や海外からもご来店頂く当店では、埼玉県の魅力をより多くの方に知ってもらいたいという思いで 過去に、「鴻巣市にちなんだ川幅うどん」、「北本市にちなんだトマトカレー」、「さきたま古墳群(行田市)にちなんだはにわ」などを使った「**埼玉魅力発信クレーンゲーム**」を展開し、予想外の好評を頂いております。

今回はその第7弾となる、大正11年創業の**行田の老舗メーカーの足袋を用いた、地元・行田市を応援**する【地域活性化】の一助にもなればと思い、**【地元活性化キャッチャー】**と名付け、足袋にちなんで、アームの先端に付いた靴を上手く使って、景品をGETして頂く、面白キャッチャーに仕上げました。行田市では、体育の時間に足袋を履いて授業をする学校もあったりと足袋には親しんでおりますので、**足袋を履いたことのない方に、ぜひ、足袋をGETして頂き、履いて、足袋の魅力を知って頂ければ**と思います。



↑地域活性化キャッチャーのアームの先端には靴がついている。足技を上手く使って景品の足袋をGETする

【ご連絡・お問い合わせはこちら】

会社名: 株式会社東洋

担当者: 緑川 裕一(みどりかわ ゆういち)

担当携帯: 080-6858-9626

担当メール: midorikawa@everyday.co.jp

住所(本社): 埼玉県北本市中丸9-211

最寄駅: JR高崎線 北本駅

電話番号: 048-593-0999

FAX番号: 048-593-0997

HP: <http://ufo-everyday.com/>

